

2024 第 1 号 <No.203> 韓国カトリック大学産業保健大学院と定期交流会・シンポジウムを開催  
(2024 年 2 月 6 日配信)

<韓国カトリック大学産業保健大学院と定期交流会・シンポジウムを開催>

令和 6 年 1 月 19 日 (金) ~21 日 (日) の 3 日間、韓国カトリック大学産業保健大学院より教員・大学院生を含む計 26 名が来学し、定期交流会を開催しました。産業生態科学研究所と韓国カトリック大学との定期交流会は平成 15 年 2 月に締結された学術交流協定 (MOU) に基づき、コロナ禍を除き、毎年実施されてきました。

今回は定期交流会と同時に産業精神保健学の江口尚教授が独立行政法人日本学術振興会の二国間交流事業の助成を受け「長時間労働の労働者への影響：韓国と日本の経験と研究」をテーマに共同でシンポジウムを開催しました。学外視察も行われた他、シンポジウムには本学からも教員・修練医・大学院生らが出席し、両国の現状や個別事例について、活発な意見交換が行われました。

最後に、今回の受け入れに当たっては、産業生態科学研究所健康支援部門のスタッフの皆様のご支援があったことを申し添えます。



